

Wish

世界の子どもたちのために

vol.59

2019年9月号



神戸まつりのおまつりパレードに参加しました

CONTENTS

特集 EVENT REPORT

2-5 ユニセフの夏

ユニセフセタセミナー / ルワンダ今昔ものがたり / 水の教室

6-7 活動ファイル
2019年4月～8月

8 お知らせ

ユニセフ 七夕セミナー

EVENT
REPORT

豊かさ分け合う道さがそう
— SDGs とユニセフの活動 —

子どもの権利条約と子どもの権利委員会の勧告
子どもの権利条約ができて30年、日本が批准して25年になります。
子どもの権利条約を批准している国では、国内での子どもの権利条約の実施状況を子どもの権利委員会に報告し、審査を受けま

す。日本は1994年の批准以来3回の勧告を受けていました。2019年2月には4回目の審査があり、無国籍、虐待、ジェンダーなどへの措置勧告を受けました。これらはSDGsに基づいて勧告されていました。
持続可能な開発目標(SDGs)ができた背景
世界は、これまで、一人ひとりの収入を多くしよう、ポリオを撲滅しようなどの開発の目標を作り行動してきました。国連では、2000年に、途上国の人々が直面している貧困や乳児の死亡率などを改善するためにミレニアム開発目標(MDGs)を作

講演会
子どもの権利条約とSDGsに共通する課題とは
SDGsから子どもを埋もれさせないために

りました。達成した目標もありましたが、どうしても5%の人々が取り残されてしまうことが分かりました。
また、先進国では経済格差が広がり、豊かさの考え方が、収入の増加ということから、空気がきれいなことや平和に暮らすことなど、さまざまな権利と一体であるというように変わってきました。そのような状況下でSDGsは作られ、「誰ひとり取り残さない」という理念が掲げられました。
SDGsと子どもの権利条約とユニセフ
豊かさとは子どもの権利が保障されていることです。ユニセフは、すべての子どもの権利を実現することを目指し活動をしていま

す。ユニセフの活動の柱となるのが「ユニセフ戦略計画」です。生存と成長、教育、子どもの保護、水と衛生、公平な機会の5つの目標とジェンダーの平等、緊急支援・人道支援の課題が示されています。これらは、SDGsの17の目標と密接に関連しています。
子どもたちが抱えている問題
浜田さんはバングラデシュのストリートチルドレンの支援に携わり、今は社会的養護を必要としながら制度のはざままで支援を受けられなかった子どもたちの自立を援助しています。浜田さんは、預かっている日本の子どもたちをみると、バングラデシュの子どもたちと似ていると思うそうです。いずれも生活の変化の



特集 EVENT REPORT

ユニセフの夏

私たちは子どもの声を聴いているでしょうか。
今年の夏、子どものことを考えることはもちろん、子どもたちと一緒に楽しく学べるイベントを行いました。

Event Data イベントデータ

日時 2019年7月27日(土)
 会場 中央電気倶楽部(大阪市)
 主催 大阪ユニセフ協会
 共催 ユニセフセタネットワーク

中国・四国・近畿地方の7つのユニセフ協会を中心に行われる合同研修会が開催されました。浜田進士さんの講演、大阪ユニセフ協会の活動報告、大学生の実践報告、その後ワークショップがあり、兵庫県ユニセフ協会からは11人が参加しました。ここでは浜田さんの講演を紹介します。

Column 知ってる？

SDGs エスディージーズ

SDGsとは、2015年の国連総会において全会一致で採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。全ての国連加盟国が2030年までの達成を目指す、貧困や教育、環境などの17分野にわたる目標があります。キーワードは「5つのP」。People(人間)、Prosperity(豊かさ)、Planet(地球)、Peace(平和)、Partnership(パートナーシップ)。環境・社会・経済の3つの側面を調和させ人権を尊重しながら、「誰ひとり取り残さない」社会を目指して、世界中が一緒になって取り組む地球の未来のための目標です。私たち一人ひとりが「自分ごと」として社会課題を考え、話し合い、身近なところからできることをしていくことが、未来を変えていく第一歩になります。



子どもの権利条約

子どもの権利条約は、世界中のすべての子どもが、心身ともに健康に、自分らしく育つための「権利」について定めた条約です。18歳未満のすべての子どもの権利と、その権利を守るために国や大人たちがしなければならないことが書かれています。現在、世界中で196の国と地域がこの条約を守ることを約束(批准)しています。日本は世界で158番目に批准しました。

「子どもの権利条約」4つの柱

1
生きる権利

防げる病気などで命を奪われないこと。病気やけがをしたら治療を受けられること。

2
育つ権利

教育を受け、休んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。

3
守られる権利

あらゆる虐待や搾取などから守られること。障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。

4
参加する権利

自由に意見を表したり、集まってグループを作ったり自由な活動を行ったりできること。

きっかけは父親、シングルマザー問題と深く関係しています。パングラデシユでは離婚などがきっかけでストリートチルドレンやホームレスチルドレンになるケースが多いです。日本でも父親のDVなどで崩壊する家庭、男性に比べ賃金の低い母親が無理をしすぎて、子どもが育児放棄や虐待を受ける家庭が増えています。家庭が安心できる居場所でなくなつた子どもたちは、家を出て、大人たちの悪い誘

いにつれてしまいます。いづれの子どもたちも家庭で合理的にも虐待を受け、路上で大人に騙されたりして心に傷を負っているのです。日本では、10歳から14歳の子どもの死亡原因の1位は自死です。虐待や学校での問題、相対的貧困など生きにくい環境で、子どもたちの心は傷ついています。

子どもは変化の担い手

SDGsの中で、子どもは重要な変化の担い手と位置づけられています。SDGsの実施に主体的に関わっていきけるように、SDGsから子どもを埋もれさせないためには、子どもの意見を聴いてもらう権利を保障すること、子どもが街づくりに参加することに尽きます。子どもに最も良いことは何か、子どもに聴いてみないとわからない。子どもに意見を聞きながら、持続可能な街づくりをすることが大切です。誰か一人でも自分を否定せず共に



浜田進士さん
 自立援助ホーム『あらんの家』施設長、子どもの権利条約関西ネットワーク共同代表。

生きていくことに気付けば、人は生きていくことができます。自分を価値ある大切な存在と思えることで子どもは変わります。一人の子どもが変わることで、周りも変わっていきます。社会の仕組みも変わっていきます。持続可能な社会へと変化していきます。

EVENT
REPORT世界に目を向けよう
ルワンダ
今昔ものがたり

Data イベントデータ

日時 2019年6月8日(土)
会場 若王寺こども食堂(尼崎市)
参加者 140人
主催 コープこうべ第1地区「平和の会」
共催 兵庫県ユニセフ協会
後援 尼崎市教育委員会

*この事業は(公財)兵庫県国際交流協会の「民間国際交流事業」から助成を受け実施されました。

会場には小さい子どもからシニアまでたくさんの人々が集まり、マリールイズさんとマーティンさんの熱く心揺さぶられる話と歌を聞きました。

アフリカの奇跡

ルワンダは東アフリカにある穏やかな気候の緑豊かな国で、近年はICT(情報通信技術)立国を目指し、大きな発展を上げています。また女性の活躍が目覚ましく、女性国会議員の率は世界一。1994年の大虐殺の加害者の死刑が廃止されたことも、「赦す」ことを選んだ被害者の未亡人たちの働きかけによるものです。

マリールイズさんの信念

大虐殺の時、マリールイズさんは3人の子どもを連れて難民キャンプまで逃げ、いくつもの奇跡的な出会いとJICAの研修生として滞在した福島で学んだ日本語のおかげで再来日することができました。戦争中は生きる希望も失われますが、命さえあればどんな可能性も手にできます。それがマリールイズさんの信念です。

マリールイズさんは80歳の日本女性が新聞を読んでいることに



ルワンダのコーヒーなどを飲みながら感想や平和への思いを語り合う参加者

とても驚き、文字の読めない自分の母親に思いが及びました。自身の体験を通して、教育は平和・発展への希望の鍵であること、そして子どもが空腹でないことや安心して眠れることこそが平和なのだを確信して、現在の活動をしています。

マーティンさんの見た光

平和や広島についての歌を披露してくれたマーティンさんとマリールイズさんが出会ったきっかけは10年前のYouTube。マリールイズさんはすぐに連絡を取りました。

大虐殺の時6歳だったマーティンさんは、一緒に遊んでいた友達がいなくなっていて、周辺に亡骸が放置されているということに3年たつてから初めて気づきました。その時の「みんなどこへ行ったの?」という疑問から自然に生

まれた彼の歌は、戦争のトラウマに苦しむ仲間たちの癒しとなりました。その後受けた教育によって、暗く絶望的な孤児院生活の先の光のある未来を彼は思い描けるようになりました。今月初来日して訪れた広島で悲惨な過去を学ぶ子どもたちを見て、マーティンさんは平和教育への取り組みを国へ提言しているのうと思いました。そしていろいろな原因で寂しい思いをしている子どもたちの声なき声を音楽の力でこれからも伝えていきます。



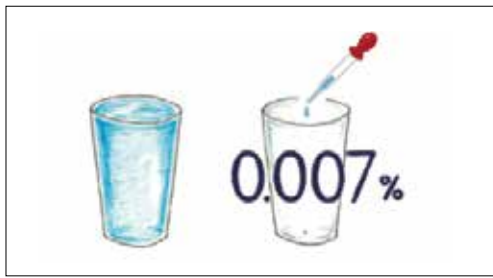
とわり
永遠瑠 マリールイズさん
「ルワンダの教育を考える会」理事長

ルワンダでの学校建設・運営にあたる。日本各地で平和・教育の大切さについて講演。東日本大震災で被災した福島の仮設住宅ではルワンダカフェを実施。2013年日本国籍取得。福島市在住。



マニ・マーティンさん
歌手

ルワンダの国民的アーティスト。ルワンダ伝統音楽とソウルミュージックなどを融合した歌を「平和のために歌う」歌手。作曲家、俳優としても活躍。



地球に存在するすべての水を1リットルに例えると、私たちが利用できる水は、スポイト1滴にも満たない。
参考：Volvic「お水の教室」

ユニセフセミナー「水の教室」は、子どもたちが体験や実験を通して地球の水について学ぶイベント。昨年に引き続き、自然豊かなあいな里山公園相談ヶ辻の家とその周辺で行われました。



私たちは安全な水を自由に使えますが、世界には遠くの川や池へ水汲みに行くために学校にも行けない子どもたち、汚れた水を飲んで命を落とす子どもたちがまだまだたくさんいます。

今回のセミナーでは、水の大切さ、水を手に入れる苦勞、きれいな水を得るための工夫、そこでのユニセフの仕事について体験を交えて学習しました。

調べてみよう！

「水」は地球上の限られた資源。私たちが利用できる水は川や湖の水。その量ってどれくらい？ などクイズを交えながら考えていきました。

体験してみよう！

水道が導入される前、私たちは井戸水や湧き水のような地下水に頼って暮らしていました。今はあまり見かけなくなった手押しポンプを使って地下水を汲み上げてみました。

しかし、近くに水がなければ何時間もかけて水汲みに出かけます。私たちは水がなければ生きていけないからです。水運びは子どもにとって重労働。蓮田の泥水を汲み、水運びの大変さを体験しました。

実験してみよう！

地下水が川や湖の水に比べてきれいな理由は、地中の石や砂などのさまざまな層が、汚れを取り除くフィルター役割を果たしているからです。また、地中で

は、小さな微生物が汚れである有機物を分解し、浄化する役割を担っています。地下水は、地上に降った雨などが長い時間をかけて地中にしみ出したものです。石や枯葉などを使って、ミニチュアの地層をペットボトルの中に再現、汚れた水がどのようにろ過されていくか実験しました。

まとめてみよう！

体験や実験を通して感じたこと、わかったことを大学生リーダーにも聞きながらまとめました。また、ユニセフが子どもたちに清潔な水を届けられるように、井戸などの給水設備をつくっていることも学びました。

これで夏休みの自由研究もばっちりです。

2019年ユニセフセミナー 水の教室

調べてみよう！

体験してみよう！

実験してみよう！

EVENT
REPORT



Data イベントデータ	
日時	2019年8月3日(土)
会場	国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園
参加者	14人(小学生)
共催	あいな里山公園、兵庫県ユニセフ協会

1 神戸まつりおまつりパレードに参加

日時 5月19日(日)
会場 フラワーロード～三宮中央通り(神戸市中央区)
参加者 110人



ユニセフボランティアやボーイスカウト、コープこうべの職員の皆さん、子ども連れのお母さんたちが参加。全員で「子どもの笑顔を守ろう」とアピールしながら楽しく行進しました。

2 春のトライやるウィーク



日時 6月3日(月)～7日(金)
参加者 啓明学院中学校 飯田夏生^{なつき}さん、岡村紗奈^{さな}さん、尾崎文洋^{ふひろ}さん、神谷信之介^{のぶのすけ}さん、島瑞陽^{みずひ}さん

ユニセフ活動に興味を持った5人の中学生がやってきました。ユニセフの基礎を学び、最終日には、自分がユニセフ学習の講師になったら何をどう伝えるかを考えて発表しました。

3 福島の子も保養プロジェクト in よしまキャンプ



日時 7月28日(日)～8月1日(木)
場所 神戸YMCA 余島野外活動センター(香川県小豆島)
共催 コープこうべ、神戸YMCA、兵庫県ユニセフ協会

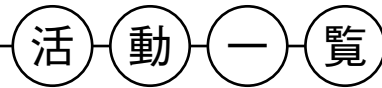
2012年から福島県の小学生を招待してキャンプを行っています。今年は30人の子どもたちに、よしまキャンプの経験がある8人の中・高校生がリーダーとして加わりました。他のグループと交流した5日間は、楽しい思い出になりました。

Activities File 活動ファイル



兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2019年4月～8月



Activities List

学習会訪問一覽

月日	訪問先	対象	人数
5月25日	ユニセフ入門講座	大人	14
5月25日	近畿大学附属豊岡中学校	中学3年生	4
7月24日	あさひ児童館	小学1～6年生	79
7月30日	たるみ保育園学童クラブ	小学1～3年生	25
7月31日	あしやキッズスクエア 打出浜小学校	小学生	20
7月31日	あしやキッズスクエア 浜風小学校	小学生	10
8月 6日	姫路市立中学校教育研究会 福祉教育部会	大人	26
8月19日	太子町社会福祉協議会	高校生・大人	49
8月24日	三輪っ子ハッピークラブ	小学生・大人	16

地域活動一覽

*ブース出展

月日	イベント名
5月19日	神戸まつりおまつりパレード
6月 8日	公演「世界に目を向けよう ルワンダ今昔ものがたり」(尼崎市) *
6月22日	2019国際理解講座②
7月13日	ユニセフスタディーツアー ミャンマー報告会
7月20日	めだかの学校(西宮市) *
7月20日	コープこうべ第3地区 平和のつどい *
7月27日	ユニセフ七夕セミナー(大阪市)
7月28日 -8月1日	福島の子も保養プロジェクト in よしまキャンプ (香川県小豆島)
8月1-19日	ユニセフパネル展「戦争と子ども 昭和をふりかえる」
8月 2日	コープこうべ三木緑が丘平和のひろば *
8月 3日	ユニセフセミナー「水の教室」
8月 7日	コープこうべ第7地区 平和のつどい「地球のステージ」 *
8月10日	コープこうべ第6地区 平和のつどい「地球のステージ」 *
8月11日	コープこうべ第4地区 平和のつどい *
8月17-23日	「チーム・ユニセフ」ポスター展示 *
8月31日	平和講演会

※トライやる受入 6/3-7 啓明学院中学校3年生5人

※インターン生受入 8/1、3、6、7、10、31 大手前大学、大手前短期大学1～2年生3人

募金していただいた学校・団体 (2019年3月～6月)

一粒園認定こども園職員・保護者一同、伊藤ハム(株)、ティンカーベル、神戸市立鷹取中学校、神戸市立泉台小学校、神戸市小学校長会、日本キリスト教団西神戸協会、コープこうべ協同学苑、コープ虹つ子エバラ春休み劇場、生活協同組合コープこうべ、ボーイスカウト姫路第16団・18団、とみやようこバレエスクール、(株)産業経済新聞社(敬称略、順不同) 外貨募金:姫路城を守る会 ご協力ありがとうございました。

4 2019 国際理解講座

1 国づくりは 子どもたちの未来づくりから

講師 シャラド・ライさん (NPO 法人 YouMe Nepal 代表)
 日時 4月27日(土)
 会場 神戸市外国語大学三木記念会館
 参加者 54人

ライさんが生まれた村は、電気もガスも井戸もない山岳地帯。小学校4年生の時、国費で首都カトマンズにある名門校で学べるチャンスが与えられ、高校卒業まで勉強しました。

その後、日本に留学してから、ネパールの同世代の多くが出稼ぎに行き、命を失うほどの過酷な労働環境で働いているという現実を知りました。自分にチャンスくれた「国に恩返し」をしたいとの思いと、このような状況を改善するには教育が必要との考えか

ら、アルバイトで資金を貯めて学校を創りました。

学校での決まりは、先生も生徒も

時間と約束を守ること、政治活動の禁止、カーストによる差別をなくすことなどです。授業は国語以外の科目は英語で行い、日本企業の支援を得て給食も提供しています。

ライさんは、皆がきちんとした教育を受けられるようなオンラインスクールの仕組みづくりを進めています。そして、大好きな国をよくするためにネパールに戻り政治家を志します。

シャラド・ライ

学生時代に学校建設をスタート。ソフトバンク入社。東京大学大学院博士課程在籍中。



2 ISは終わったのか ～取材映像で見るシリア・イラクの女性や子どもたちは今～

講師 玉本英子さん (アジアプレス所属ジャーナリスト)
 日時 6月22日(土)
 会場 コープこうべ生活文化センター (神戸市東灘区)
 参加者 76人



今年3月イスラム国 (IS) がシリアとイラクの拠点を全て失った後、現地からの報道が減りました。ISは本当になくなり、人々に平和な暮らしが戻ったのでしょうか。中東地域を中心に20年以上取材を続ける玉本さんに話を聞きました。

2014年ISはヤズディ教徒居住区を襲撃。改宗しない男性は殺され、少年は兵士に。女性は奴隷として強制結婚させられました。昨年ノーベル平和賞を受賞したナディア・ムラドさんもその一人です。IS戦闘員との間に生まれた子どもたちは厳しい戒律の下ではヤズディ教徒と認めてもらえません。今も隠れ住んでいるISの戦闘員や支持者による行政官たちの暗殺や麦畑の焼き討ちなど、新たな問題も起きています。ISはなくなってはいないのです。人々が今も苦しんでいることを知ってほしいと玉本さんは訴えました。

玉本 英子

2017年には「第54回ギャラクシー賞」報道活動部門最優秀賞を、2019年には「飯田記念ジャーナリスト賞」特別賞を受賞。

6 戦争と子ども 昭和をふりかえる

日時 8月1日(木)～19日(月)
 場所 コープこうべ生活文化センター
 「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」の写真パネル展示をしました。
 今回はコープこうべ生活文化センター図書コーナーとの共催で、センター所蔵の戦時体制中に使われた玩具・すごろく・書籍なども併せて展示されました。

©日本ユニセフ協会



5 全国中学校体育大会で 「チーム・ユニセフ」を紹介

日時 8月17日(土)～23日(金)
 場所 姫路市・尼崎市・神戸市

ユニセフは、「スポーツの力」を、子どもたちを支援するさまざまな活動に活かしています。「チーム・ユニセフ」は、この活動に賛同する世界中のアスリートやスポーツチーム、企業や市民が参加する、スポーツや遊びを通じて世界の子どもたちを応援する活動です。兵庫県下で開催された、柔道、バドミントン、ハンドボールの全国中学校体育大会会場場でポスターなどを展示しました。

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

Volunteer

あなたもボランティア!

ボランティア募集中

「できる人が できる時に できることを」をモットーに子どもたちのための活動をしています。一緒にボランティアしませんか。お気軽にご連絡ください。

Wish^{ユニセフ兵庫ニュース} vol.59

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2019年9月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町 5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605 (平日 10:00～16:00)

FAX：078-451-9830

●最新の情報はホームページで

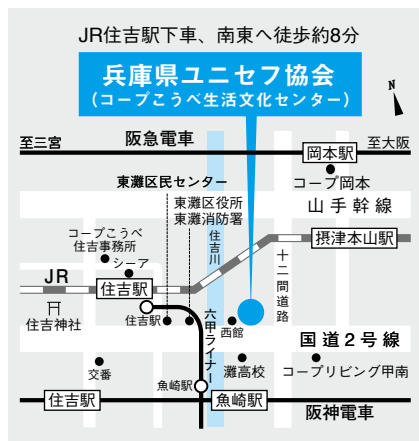
<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

どなたでもご参加いただけます。
詳細はHPをご覧ください。

参加費
無料

平和講演会

未来の平和を創るために

～被爆者の声を聞く～

日時 10月13日(日) 14:00～15:30

会場 コープこうべ生活文化センター

講師 木戸季市さん(日本原水爆被害者団体協議会 事務局長)

定員 80人

ユニセフセミナー

子どもの権利とSDGs

～子どもの権利条約を知る 考える 提案する!～

日時 10月19日(土) 13:00～15:00

会場 コープこうべ健保会館(神戸市東灘区)

講師 末吉洋文さん(塚塚山大学法学部教授)

定員 30人

2019年は子どもの権利条約が採択されて30年、日本が批准して25周年の節目の年。子どもの権利条約を理解し、課題をどのように克服すべきか、アクティブラーニングの手法を取り入れながら学びます。



お申込み、お問い合わせ先

事務局 078-435-1605

News お知らせ

ユニセフ スマホサミット in 神戸

日時 2020年1月25日(土) 13:00～16:30

会場 コープこうべ生活文化センター

みなさんの身近にあるインターネットの問題を中高生と共に学び、考えます。

第18回ユニセフのつどい

日時 2020年3月14日(土)

会場 コープこうべ生活文化センター

ご予約ください。

Booth 出展参加

10月1日(火)	ひょうごまるごと健康チャレンジ2019第1回(ほがらかウォーク in 東灘)
10月26日(土)	兵庫県ふれあいの祭典(兵庫立三木総合防災公園)
10月26日(土)	姫路市医師会看護専門学校文化祭
10月26日(土)	秋祭り住吉ファミリー(コープこうべ生活文化センター)
11月3日(日)	2019ユニセフカップにのしみや甲子園ハーフマラソン
11月9日(土)	にしのみやふるさとウォーク
11月10日(日)	パディーウォーク(しあわせの村)

ユニセフ出前学習会



学習会の講師派遣を行っています。
お気軽にお問い合わせください。



ユニセフひょうごサポーター

賛助会員募集中

賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支援してください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。